

# あおたけ

まきび病院家族会機関紙 事務局  
〒710-1301 岡山県倉敷市真備町箭田 2387  
TEL (086) 698-6511 2012.5 第156号  
ホームページアドレス <http://www.ne.jp/asahi/m/0/aotake/>

## <3月定例会の報告>

ドキュメンタリー映画「精神」(想田監督、2009年)を当事者のAさんのご厚意により、マインドホールにて無料上映しました。映画は監督が意図的に加工をあえてせず、登場する方たちのありのままの赤裸々な診療、生活風景が2時間にわたって映されました。

## <4月定例会の報告>

前回の映画の続編と登場されたAさんにおいていただき、ご自身の体験や映画にかけた思い等をうかがいました。

・映画出演のきっかけはたまたま援助していただいたヘルパーのご主人が監督で、出演して世の中に心の病の世界を発信したかったから。

・支えてくださる山本先生や仲間と出会って、勉強や体験を積み重ねながら、人前で話すことがだんだんできるようになった。話せるようになったのは失敗してもいいと思えるようになったから。悩んでもしょうがないのであまり深く考えないことにしている。幻聴が悪い内容でなければ放置してもよいと思う。自分にとっては同居生活しているような存在。山本先生はひどい幻聴に対しても薬よりドライブなどの気分転換を優先してくださった。寝てやり過ごすことも復元効果(自然治癒力)がある。

・スピーカーズビューローにも所属したこともあるが当事者が求めているのは「管理」ではなく「寄り添い」。

・親亡き後の問題について、自分の場合はすでに老老介護になっていて別居

という方法を選択、母には「お母さんの年金はお母さんのものだから残さず、使ってください」といってケアホームに入所した。自分はだらしがないので一から世話人や同居者に学んでいる。

・「生きる」ということは助けてもらうだけでなく、自分が能動的に生きようと決意することが大事だと思う。

Aさん、お話をいただきありがとうございました。



## お知らせ

- ① 5月31日(木) 13時からマインドホールにて、第24回定期総会を開催いたします。そのあと、こら一る岡山診療所所長山本昌知先生(元岡山県精神保健福祉センター所長)の記念講演をうかがいます。3月、4月に上映した映画「精神」の舞台となる診療所の所長でおられます。テーマは「当事者に教えられたこと」(仮題)の予定です。ふるってご参加ください。参加費無料。
- ② 6月定例会は23日(土) 13時30分～、マインドホールにて自由討議を行います。